

<府中第六小学校は、今年度創立70周年を迎えました>



## 前進する令和8年に

校長 小林 邦子

令和8年が始まり、子供たちと元気に3学期を迎えることができ、とても嬉しく思っています。始業式の日には、いつもの朝のあいさつに加えて、新年のあいさつの言葉をたくさんの子供たちと交わし合い、幸せな気持ちになりました。教室では、担任が黒板にメッセージを書いたり、3学期の過ごし方について願いを伝えたりして、しっかりと耳を傾ける子供たちの姿がありました。2学期までに培った力を土台にしながら、新たな気持ちで3学期を充実したものにしてほしいと思います。

さて、始業式には、大きく二つの話をしました。

一つは、目標をもつこと。目標をもち、努力することで、人は思っている以上に自分の力を大きく伸ばすことができます。今年の箱根駅伝では、青山学院大学の黒田朝日選手が、五区で先頭との3分24秒差を大逆転し、区間記録の驚異的な更新、往路優勝を成し遂げ、総合優勝の大きな流れを作りました。自分で限界を作ったり、諦めたりしないで、こうなりたいという目標をもち、努力を重ねてほしいと思います。

二つは、3月までに今の学年の仕上げを行うこと。スローガンは、「㊥㊦㊧をのびして仕上げよう」です。

㊥は、生活リズムを整えること。よりよい生活リズムができると、健康とやる気の土台になります。

㊦は、すすんで物事に取り組むこと。すすんであいさつする。すすんでよいことをする。すすんで勉強する。まだまだあります。誰かに言われなくても、すすんでできる力を伸ばしたいものです。

㊧は、自信をつけること。自分でできることを増やしたら、みんなのできることを増やせるといいです。自分の自信、学級の自信、学年の自信につながり、相手を思いやる気持ちや協力する心が育ちます。子供たちからは、字をきれいに書く、時間を守る、といった考えも出てきました。

ご家庭でも、㊥㊦㊧がのびているか、目をかけ、声をかけていただけたらと思います。

令和8年も、子供たち、教職員、保護者、地域の皆様と目指す方向性を共有しながら、それぞれの思いをみんなで形にしていきたいと思えます。学校評価アンケートにつきましても、ご協力ありがとうございました。今後の教育活動に生かし、チーム六小として最善を尽くしてまいります。本年も皆様と一緒に楽しい学校を創っていきけるよう、よろしくお願ひします。



〔校庭から見える富士山〕